



# CHAPTER 27

## アプリケーションのダイヤル ルール設定

次の各項では、ダイヤル ルール設定について説明します。

- 「アプリケーションのダイヤル ルールの設定値」(P.27-1)
- 「ダイヤル ルールの優先順位の変更」(P.27-3)
- 「関連項目」(P.27-3)

### アプリケーションのダイヤル ルールの設定値

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[コールルーティング (Call Routing)] > [ダイヤルルール (Dial Rules)] > [アプリケーションダイヤルルール (Application Dial Rules)] メニューパスを使用して、アプリケーションダイヤルルールを設定します。

管理者は、ダイヤルルール設定を使用して、ダイヤルルールの優先順位を追加およびソートできます。Cisco Unified Communications Manager Assistant などのアプリケーションのダイヤルルールは、ユーザがダイヤルする電話番号から自動的に数字を削除したり、電話番号に数字を追加したりします。たとえば、7桁の電話番号の先頭に、外線発信用の数字 9 を自動的に追加します。

Cisco Unified Communications Manager Assistant などのアプリケーションで、アシスタントは Assistant Console からディレクトリ検索を実行できます。ディレクトリ エントリを Assistant Console の [マイコール (My Calls)] パネルへドラッグアンドドロップできます。ドロップすると、エントリに含まれている番号宛てにコールが発信されます。ダイヤルルールは、エントリに含まれる番号に対して、コールの発信前に適用されます。

#### アプリケーションダイヤルルールの設定のヒント

新しいダイヤルルールを追加する手順または既存のダイヤルルールを更新する手順を実行する場合、ダイヤルルールの設計およびエラーチェックについては、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「アプリケーションダイヤルルール設定のエラーチェック」を参照してください。



(注)

ダイヤルルールが複数ある場合は、ダイヤルルールの優先順位を変更できます。「ダイヤルルールの優先順位の変更」(P.27-3)を参照してください。

#### GUI の使用方法

Cisco Unified Communications Manager の管理の Graphical User Interface (GUI; グラフィカル ユーザ インターフェイス) を使用してレコードを検索、削除、設定、またはコピーする方法については、「Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションでの操作」(P.1-13) およびそのサブセクションを参照してください。GUI の使用方法とボタンおよびアイコンの機能の詳細が説明されています。

## 設定値表

表 27-1 では、[アプリケーションダイヤルルールの設定 (Application Dial Rule Configuration)] ウィンドウ内で使用可能な設定値について説明します。関連する手順の詳細については、「[関連項目](#)」(P.27-3) を参照してください。

表 27-1 アプリケーションのダイヤル ルールの設定値

| フィールド   | 説明  |
|---|---|
| [名前 (Name)]   | [名前 (Name)] フィールドに名前を入力します。名前は 1 文字以上にする必要があります。最大 50 文字の英数字を含めることができますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、および山カッコ (<>) は使用できません。<br>アプリケーションのダイヤル ルール名はそれぞれ固有の名前にしてください。   |
| [説明 (Description)]                                      | アプリケーションのダイヤル ルールの説明を [説明 (Description)] フィールドに入力します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、または山カッコ (<>) は使用できません。   |
| [開始番号 (Number Begins With)]                             | このアプリケーションのダイヤル ルールを適用する電話番号の先頭部分の数字を入力します。<br>有効な文字は、数字 (0 ~ 9)、プラス記号 (+)、アスタリスク (*)、およびシャープ記号 (#) です。このフィールドに 50 を超える文字を入力できないことに注意してください。  |
| [桁数 (Number of Digits)]                                 | このアプリケーションのダイヤル ルールを適用するダイヤル番号の長さを入力します。このフィールドには次のことが適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>サポートされるのは数字 (0 ~ 9) だけです。</li> <li>0 以上で 100 未満の値にする必要があります。</li> </ul>  |
| [削除する合計桁数 (Total Digits to be Removed)]                 | Cisco Unified Communications Manager で、このダイヤル ルールを適用するダイヤル番号の先頭から削除する桁数を入力します。このフィールドには次のことが適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>サポートされるのは数字 (0 ~ 9) だけです。</li> <li>0 以上で 100 未満の値にする必要があります。</li> <li>[桁数 (Number of Digits)] フィールドの値を超える値は設定できません。</li> </ul> |
| [プレフィックスパターン (Prefix With Pattern)]                     | このアプリケーションのダイヤル ルールを適用するダイヤル番号の先頭に追加するパターンを入力します。有効な値は、数字 (0 ~ 9)、プラス記号 (+)、アスタリスク (*)、およびシャープ記号 (#) です。このフィールドに 50 を超える文字を入力できないことに注意してください。   |
| [アプリケーションダイヤル ルール優先順位 (Application Dial Rule Priority)] | ダイヤル ルールの優先順位を高、低、標準のいずれかから選択します。   |

## 追加情報

「[関連項目](#)」(P.27-3) を参照してください。

# ダイヤル ルールの優先順位の変更

ダイヤル ルールの優先順位を変更する手順は、次のとおりです。

## 手順

**ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[コールルーティング (Call Routing)] > [ダイヤルルール (Dial Rules)] > [アプリケーションダイヤルルール (Application Dial Rules)] の順に選択します。



**(注)** 優先順位は、[アプリケーションダイヤルルールの設定 (Application Dial Rule Configuration)] ウィンドウから変更することもできます。

**ステップ 2** [アプリケーションダイヤルルールの検索と一覧表示 (Find and List Application Dial Rules)] ウィンドウで、ダイヤルルールを選択し、ダイヤルルール名をクリックします。[アプリケーションダイヤルルールの設定 (Application Dial Rule Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** 上矢印と下矢印を使用して、リスト内でダイヤルルールを上または下に移動します。

**ステップ 4** 優先順位を変更し終わったら、[保存 (Save)] をクリックします。

## 追加情報

「[関連項目](#)」(P.27-3) を参照してください。

## 関連項目

- 「[アプリケーションのダイヤル ルール設定](#)」(P.27-1)
- 「[アプリケーションのダイヤル ルールの設定値](#)」(P.27-1)
- 「[ダイヤル ルールの優先順位の変更](#)」(P.27-3)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「[ダイヤル ルールの概要](#)」

